

## 最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 8 月 17 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

### ■ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、本格下落トレンド入りするかどうかのブル・ベアの分岐点

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと-3σラインの間をコアとするレンジ相場と判断。今後、終値が-1σラインの下方で引け続け、バンド幅が拡大傾向に転じると、本格下落トレンド入りの可能性が高まると判断。レンジ相場継続となるか、それとも、本格下落トレンド入りするかどうかの瀬戸際(ブル・ベアの分岐点)に直面していると読む。

#### ◆スパンモデル

遅行スパンはローソク足の下方を推移、陰転してきており、短期では売り優勢となる一方で、サポートゾーン内で推移するかぎり、陽転継続となり、長期では依然として買い優勢と読む。尚、今後、遅行スパンがゾーンを下回ってくると、本格的な陰転となり、長期でも売り優勢となる点には注視したい。

### <<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、+1σラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。引き続き、終値が+1σラインの下方で引けており、ドル続落しやすくなっている。目先、+1σラインとセンターラインの間でレンジ相場と読む。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。また、遅行スパンがローソク足に沿って軟化している点も注視したい。

#### ■ユーロドル

### <<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1σラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。目先、-1σラインと-2σラインの間で推移しており、巡航速度の本格下落トレンドと読む。尚、終値が-1σラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる点、注意しておきたい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナルの順行パターンの売りサインが点灯継続中。一方、赤色スパンが下向きに変化して以降、終値が $-2\sigma$ ラインの上方で引けており、逆行パターンの買いサイン点灯となっている点には注意しておきたい。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。目先、 $-1\sigma$ ラインと $-2\sigma$ ラインの間で推移しており、巡航速度の本格下落トレンドと読む。尚、終値が $-1\sigma$ ラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる点、注意しておきたい。

#### ◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続中、終値が $-2\sigma$ ラインを上回っており、逆行パターンの買いサインが点灯している点に注目。尚、赤色スパンが下向きに変化する中、やはり、逆行パターンの買いサインが点灯している点、注視したい場面。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝下落バイアスを伴ったレンジ相場、本格下落トレンド入りの兆候はあり

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、 $-1\sigma$ ラインと $-3\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向となると、本格下落トレンド入りの可能性が高まる。

#### ◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値を完全には下回って引けていないことから、逆行パターンの買いサインが依然として点灯している点に注目したい。

#### ■豪ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方で引けるかぎり、本格下落トレンドと判断。目先、 $-1\sigma$ ラインと $-2\sigma$ ラインの間で推移しており、巡航速度の本格下落トレンドと読む。尚、終値が $-1\sigma$ ラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる点、注意しておきたい。

◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点に注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝依然として、バンド幅の収束傾向が続き、レンジ相場の地合いを強めると読み、目先、 $-1\sigma$ ラインと $-3\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断する。尚、今後、終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が顕著となる場合、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、引き続き要注意。

◆スパンモデル

赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが、かろうじて点灯継続中である点に注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。目先、 $-1\sigma$ ラインと $-2\sigma$ ラインの間で推移しており、巡航速度の本格下落トレンドと読む。尚、終値が $-1\sigma$ ラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる点、注意しておきたい。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯する中、終値が猶予期間中の安値をкаろうじて上回って引けており、逆行パターンの買いサインが点灯している点、注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、依然として、終値が $-2\sigma$ ラインを下回っていることから、順行パターンの売りサイン点灯継続している点、注目したい。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。